

令和4年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) えびす認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園児数、クラス数が多い上、コロナ禍の影響で園全体の子どもとの関係が希薄になっている。その反面、クラス単位での活動が活発となり、クラス内で共通の目標に向かって取り組んだり、主体的に関わっていくことで、その達成感を十分に味わうことができている。</li> <li>○ 普段の保育の実践を伝え合う機会が少ない。保育者が自ら発信する場や、お互いの保育の良さを発見し認め合う話が必要である。</li> <li>○ 子どもを主体的に捉え、一人ひとりの思いに伝えられるような関わりを行うよう努めているが、子どもの学びのポイントについて意識化する話し合いが十分にできていない。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安心、安全の下、子どもの「やりたい!」を実現しよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが主体的に取り組めるようにするために、どのような環境、援助が必要なのか意識的に考え、実践していけるようにする。</li> </ul> </li> <li>○ 保育や子どもの姿をのびのびと語り合おう! <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育や子どもの様子から、それらについての見方や考え方を、職員間交流の中から共有し、いいところを継承できるようにする。</li> </ul> </li> </ul>
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの気持ちのキャッチを心がけ、そこに寄り添った保育ができるスキルを身につける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りの時間の充実。</li> <li>・ 選択、自己決定できる環境を整える。</li> <li>・ 子どもの姿を共有する。</li> </ul> </li> <li>○ 職員会議の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議の集まり方、方法、内容を再検討し、伝達がメインの会議、話し合いをする会議などに分け、内容によって「少数⇄多数」「若手⇄ベテラン⇄混合」「年齢別⇄混合」など参加するメンバーや人数を調整するなど、より充実を図れるように工夫する。</li> </ul> </li> <li>○ お互いの保育のいいところ、気づきを大切にし、認め合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動や環境の写真、日誌(自己評価)を職員室に掲示し、保育を可視化し、共有することで、語り合いのきっかけづくりをする。</li> <li>・ 語り合いの場の中で、子どもに対する声掛けや見守りの姿勢等を具体化し、若手もベテランも変わりなく、子どもに寄り添った対応ができるよう学び合う。</li> </ul> </li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの姿・やりとりについて、保育者同士の「語り合い・伝え合いの姿」が増え、子ども理解に深みが増した。</li> <li>○ 言葉がけの是非やタイミング、環境構成・遊びの展開など、その振り返りや悩みを素直に表現する姿が増えた。</li> <li>○ 保育者間で情報共有をしたり、教え合ったりする中で、援助や支援の仕方について、よりよい方法を探ろうとするようになった。</li> <li>○ 保育者が子どもの気持ちを大きく受け止める余裕が生まれ、ゆったりとした関わりをすることができるようになってきた。</li> <li>○ 今後は、より一層縦横のつながりを強め、子どもの育ちを園全体で支えていけるようにしたい。</li> </ul>
評価	<p>保育の質を高める上で、園内での子どもの姿を共有し、そしてそこから保育者の関わりをどう変えていくかを考えるのは重要である。その点、今年度に取り組まれた語り合いは、良かったのではないかと考えられる。全体としては、子どもに対する穏やかな関わりは職員間で共通している上に、一人一人の子どもへの理解も進んでおり、保護者からの信頼も得られている。各保育者の力量は優れているが、真剣に考えるあまり、迷ったりすることもあったのではないと思われる。これからもお互いに話し合う時間を確保することで、子どもに対する関わりや保育方針が一つになり、より一層、保育の質が高まっていくと考えられる。</p>